

ハテゲカ・ルイス・ブロッシー先生との「道徳」の授業（2018,12,14 5校時）

「平和」の意味のどらえ方の違いからルワンダ国を理解する

この授業には、担任が英語の授業をすることの大切さを実感している英語科免許を持つ3名の教員（担任：前林伸也教諭、教務主任：只野光教諭、支援員：野木恵深先生）が、通訳等で関わりながら、授業を成立させています。



●主 題：「国境を越えて」

●内容項目：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度

●題 材：学研 道徳「ペルーは泣いている」

※前時に本文を読み、ワークシートに考えを書いておきました。

日本からペルーに渡り女子バレーの代表監督を務め世界4位まで導いた加藤明が、選手や国民に受け入れてもらうまでの「壁」やそれをどう乗り越えたかについて担任が児童の発言をコーディネートし授業を進めました。最後に担任が、この「違い」が先日校長室でブロッシー先生と話したときに見られたことに触れました。黒板の左（加藤明側）に5の1の子どもたち、右（ペルー側）にブロッシー先生の写真を貼り、左の吹き出しに「笑顔、争いがなく、Happy、友達がたくさん、ピース（サイン）」と書きました。

ここで前林教諭は「ブロッシー先生から『日本の子どもたちに今、伝えたいこと』として話していただきます。」振りました。

◇ブロッシー先生の子どもたちへのスピーチ◇



私のことを知っていますか？どこから来たか分かりますか？そうですねルワンダです。今回、少しの時間君たちと「平和」について話したいと思います。

君たちが挙げてくれた「平和」、いいですね、全て「平和」で間違いありません。では、最も大事なこの「平和」を誰が保っていますか？（児童から「警察」という声などが出る）警察官？そうですね！でも、平和を守っている最初の人…あなた、そしてあなた。そうあなたたち一人一人なのです。あなたたち全員が平和を守る人なのです！そういう人をPeace Keeperと言います。この言葉知っていますか？（黒板に板書している間に通訳が「キーパーってどういう人ですか？」と尋ね、「守る人」という共通理解を図る）

では、どうやって守るか分かりますか？一つは、お互いを思いやること。もう一つはお互いに分け合うこと。そしてもう一つはお互いに優しくすること。もし、誰かが足を踏んだらどうしますか？謝ってください。そのようにすれば、その人の傷ついた心は綺麗になります。そこでネガティブなことは考えないでください。（仕返ししよう、わざとやったなど）

もしあなたの友達があなたを怒らせるような悪いことをしたら感じますか？（「悲しい」「怒る」などが挙がる）そうですね、じゃあそのあとどうする？（「同じことをやりかえす」「たたいたりしちゃう」）ノー、それは絶対にやめてください。もし、怒らせるようなことをされたら、まず相手がその後どうするか冷静に見てください。謝ってきたら「OK」と許してあげましょう。もし謝らなくても、気に留めない方がいいです。決して同じことはしないでください。戦争は、一つの国が、もう一つの国の嫌がることをして起こります。その国が謝らず、もう一つの国は同じことをし返す。あなたたちは良い種を蒔かなければなりません。良い種は良い植物と成長します。そこになった実はおいしく、みんなは「おいしいおいしい」と味わい笑顔になります。これは、とても良いたとえですね。

私の国には今、たくさんの「実」がなっています。それがもし苦い「実」だったら、食べたいですか？それがおいしい「実」だから人が集まるのです。

平和を守る人になるためにどうしたら良いか。それは、あなた自身のことをコントロールすることです。頭、心、そして手をコントロールしてください。なぜ手か…それは手が頭や心と連動して最初に動くからです。叩いたり、攻撃したり…もしネガティブな感情（怒り、憎しみ等）が頭に浮かんだら、心と手をコントロールしてください。

私の国では、過去に恐ろしいことがありました。しかし今、人々は後ろを振り返らず、前を向いています。手は…仕事のために動かします。そして心はとても優しいです。

そんな一人がもう一人、そしてもう一人と手を取り合う…それが「平和」です。そう、あなたから平和が生まれるのです。おいしい実を分け合って、どうやってその実を育てたか、食べに来た人に教えてください。

もう一つ大事なことがあります。もし良いことをされたら、まず「ありがとう」と言い、それを覚えておいてください。そして、他の人に同じ事をしてあげてください。

ところで、私は背が低くなりたいと思って生まれて来たでしょうか？黒い肌の色になりたいと生まれて来たでしょうか。こんな髪の毛になりたいと思って生まれて来たでしょうか。違いますよね。

あなたたちは何をすべきか。それは、人を評価しないこと。そしてからかいの意味を持った別な名前で呼ばないこと。これも大切です。

あなたたち一人一人が、全員同じ1つの存在なのです。一人一人、そしてこのクラス、隣のクラス、あっちのクラス、中島村と、平和がどんどん他のエリアへも広がっていきます。そうすれば、この世界は平和であふれることでしょう。

今日は、平和はあなたたち一人一人から始まることを学びましたね。いま平和なもの、おじいちゃんおばあちゃん、そしてそのまたおじいちゃん、おばあちゃんのおかげなのです。皆さんの「平和」の背後に、たくさんの人が居ることも忘れないでください。

授業の中では、ポイントを押さえながら、只野教諭が通訳をしていきました。担任：前林教諭は、自分で訳しながら授業とのつながりを意識して授業を組み立てました。特別支援の子に寄り添っていた野木支援員もその子に分かるように訳して授業を補助しました。このような環境の中で、子どもたちも授業展開をし学びました。

ブロッシー先生の熱い思いに感動しました。私たちもよい学びをいただきました。